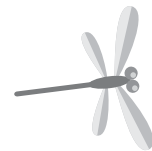


お客様への メッセージ

2013 9 月号



Contents

◎ 長期投資仲間へのメッセージ vol.78

『フリーよりフェアネスを』

セゾン投信株式会社 代表取締役社長 中野晴啓

◎ ゲストからの応援メッセージ

『新興国投資、リスク分散と長期視点で』

(株)グローバル・インベストメント・アジア

副社長執行役員

エマーシング・マーケット・ストラテジスト 蓮沼嗣也氏

◎ セミナー・イベント情報

・特別開催!セゾン投信のNISAセミナー <札幌編>、<仙台編>

・「セゾン号」の長期投資入門「投信マスターへの第一歩」

～投資する前に投資信託のポイントを知っておこう～

・ここが肝心!「セゾン投信のファンド講座」スタートアップ編

・直販クラブ2013『長期投資を徹底的に考える ―長期投資家の挑戦―』

◎ セゾン投信からのお知らせ

・NISA(ニーサ)に関する「よくある質問」

・NISA(ニーサ)についての一冊メモ

・メディア掲載情報

・買付・解約 受付不可日お知らせ

◎ お客様データ

・口座数 & 年代別構成比

◎ セゾン投信の素顔

メンバーが感じる日々の雑感

発行 セゾン投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
お問合せ先 セゾン投信お客様窓口 ☎03-3988-8668(受付時間9:00~17:00 土日祝、年末年始を除く)
<http://www.saison-am.co.jp>

■この資料は、セゾン投信の役職員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。■情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。■この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者(以下「情報提供者」)に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。■この情報は、閲覧者ご自身のみのもとし、転載、または、第三者への提供は禁止します。■このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。■投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)を十分お読みいただき、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。



長期投資仲間へのメッセージ Vol.78

「フリーよりフェアネスを」

セゾン投信株式会社
代表取締役社長 中野晴啓

フリーミアムの構図

この20年ほどでの最も劇的イノベーションはインターネットの普及でありましょう。IT産業の勃興から株式市場のバブル、そして崩壊などの荒波を経て、今や世界中にネット環境は定着し、私たちの生活パターンも一変しました。

そしてウェブ上のビジネスでスタンダードになったモデルがフリーミアムと言われる無料の仕組みです。今では私たちはネット上で、様々なサービスを大概無料で使うことが出来るようになってきました。デジタルコンテンツは基本サービスが出来上がったあとの提供コストはほとんどかからないため、ユーザーの裾野を広げることの競争が激化した結果、無料サービスが当たり前となりました。

しかし、ビジネスは収益なくして絶対に存続し得ません。このビジネスモデルの肝は、5%の有料ユーザーが存在することで成り立つと言われていています。これは5%ルールと呼ばれます。つまり5%の顧客の収益基盤に裏打ちされて、95%の無料ユーザーがサービスを楽しんでいる構図で、何やら大いなる不公平さを感じざるを得ません。

フリーの裏側に

最近はおオンラインゲームやSNSなどが、無料参加出来ることを所与のこととして普及著しいですが、先述の通りすべて無料なわけではありません。あるレベルまでのサービスをすべからず無料提供する傍らで、その先の付加サービスにはしっかり課金され、そこからの収益がサービス全体のモデルを支えています。

しかしながら有料コンテンツは射幸心や遊興の欲求を煽る方向へと専ら偏っていて、言わばユーザーの健全性を損なって行くことで収益が拡大するスキームである上に、無料サービス部分のみを賢く活用している大多数のユーザーコストも、5%と言われる有料顧客が賄っている構図です。

残念ながら、これら有料課金コンテンツの罠にはまってしまった少なからぬ利用者が、身の丈を超えた過大な支払いに堪えかねて苦しんでいる現実があり、大多数の善良なる無料ユーザーの利便性が、有料ユーザーの欲求の果ての自業自得とは言え、苦悶に支えられていると気付けば、決して心地良くは感じられなくなります。

金融業界のフリーミアム

実は我が国金融業界、とりわけ個人金融の分野ではフリーミアムを前提にしたビジネスモデルがかつてより根強く存在しています。

その最大の要因は、日本の生活者の中で情報やアドバイスへの相応の対価を支払うという価値観が希薄なことです。自らに有益な情報もアドバイスも無料が当たり前という文化が未だ一般的で、お金の相談がしたいと思ったとき、多くの人が至極当然のように金融機関に向かいます。保険であれば保険外務員や代理店に、投資信託なら証券や銀行に行って、勧められるものを素直に受け入れてそこで購入して

しまいます。

販売会社は言わば金融商品の小売店です。その場で販売手数料など仲介報酬を顧客から得ることが目的です。そこからの情報やアドバイスは当該目的に沿って販売側に有利な、逆に顧客側には必ずしも有益ではない情報・アドバイスが提供されることを想定するのは決して難しいことではないはずです。

顧客の立場に立った、顧客サイドに有益な情報・アドバイスを得ようと思うなら、その価値に相応な対価の支払いが必要であることは、グローバルな商慣習の常識です。日本でも、ビジネス間のそれには普遍になっていることです。

ノーフリーランチ

無料の情報・アドバイスには価値がないばかりか、提供側に有利となるマイナスの価値が内包されていると認識するほうが賢明でしょう。だからこそ欧米ではファイナンシャルアドバイザーがしっかりと社会的存在意義を持って多数活躍しているのです。

お金に関する情報・アドバイスを求める時には、中立性に立脚していることが最も重要なことでしょう。フリーの甘言を遮断するには、自ら判断出来るだけの知見を努力して身に付けるか、乃至はフェアネス（中立）を前提とする情報・アドバイスを有料で得ることしかありません。とりわけ大多数の生活者にとっては、後者の選択が合理的でありましょう。そしてフェアネスに忠実なFPやFAの存在が喫緊の課題でもあるのです。

「フリーランチ（ただ飯）は存在しない！」。万国共通な物理学の定理です。本物の長期投資がこの国に根付くためにも、最も重要な正義でありましょう。

（2013年9月2日記）

ゲストからの応援メッセージ

「新興国投資、リスク分散と長期視点で」

株式会社グローバル・インベストメント・アジア

副社長 兼 エマージング・マーケット・ストラテジスト
蓮沼嗣也 氏



私は、日本の金融機関に12年、外資投資銀行に13年、計25年間に渡り、グローバルに新興国の浮沈をこの目で見て参りました。1990年代のそのほとんどは、湾岸戦争、ソ連邦崩壊に始まり、北欧危機、テキーラショック、アジア危機、ロシア危機の最中におり、それら債権回収・債権保全業務に注力しておりました。その苦しい当時を含め、長きに渡り、新興国債権・債券のストラクチャリング・トレーディングに従事して参りました。

中野社長、いや、中野さんとの出会いは遡ること1997年7月、タイを中心に始まったアジア各国における急激な通貨下落により東アジア、東南アジアの経済に大きな悪影響を及ぼしたアジア危機の時でした。中野さんと私の年齢は同じ、当時、金融・サービス系ノンバンクが保有していた新興国向けの問題債権を処理し、共に債権回収に尽力した貴重な仲間であり、親友であります。

当時、アジアへ多額の資金を貸出していた日本の金融機関が不良債権を抱えることとなり、日本リースが倒産（戦後最大）、その親銀行であった長銀、そして、日債銀は国有化され、タイ、インドネシア、韓国は通貨暴落によりその経済は大きな打撃を受け、IMFの管理下に入りました。皆さんの記憶の中

にあることと思います。

1990年代後半よりアジア各国はこの危機を脱するべく、債務国と債権国とのリスケ協議（いわゆるパリクラブ債権交渉）が開始され、同時に、民間債権・債務交渉（ロンドンクラブ債権交渉）が行われ、そして、その回収率は個別債権によりまちまちであったものの、ソブリン債権においては、その多くを回収することが出来たのでありました。他方、中南米では2001年アルゼンチンのデフォルト、2002年ブラジル・ルラ大統領就任と危機、同国国債価格の大暴落が起きました。その後、2000年代後半のリーマンショック、欧州危機が起り、BRICSが先進国G7に変わり、グローバル経済を牽引するまでになってきたことは事実です。この間、他のアジア・東欧・中南米諸国も著しい経済発展を遂げ、力強く成長して参りました。

しかしながら、本年に入りこの半年間に、中国経済の鈍化、シャドーバンキング等のグレイな部分が顕在化して、BRICSをはじめとする新興国経済に失速感が出始め、更には、米国・バーナンキFRB議長によってQE3（金融量的緩和第三弾政策）の縮小が示され、新興国へ向かっていた投資資金が逆流を開始し、新興国の国債が値下がりし、各国のローカル通貨が対ドルで弱くなり、輸入物価の上昇を通じたインフレの加速懸念が増しております。

本年春先、約3年ぶりに、上述の1990年代後半のアジア債権回収の苦労話についての回顧の会を中野さんが私の為に企画してくださり、その席上、私の直近の勤務先がイタウ・ユニバンコ銀行（ブラジルに本店を置く中南米最大の民間銀行）証券部門でありましたことから、ブラジルの現況と将来についてネットTV出演の機会を頂戴致しました。（9月上旬に放映予定）

本寄稿を引き受けさせていただきましたのも、中野さんと私の投資スタンス、じっくり、長期に、その国を育てていくという姿勢、そして、いかなる投資においても、常に分散投資を心がけること、この考え方は、私の思う投資スタンスと同じものであり、共感をさせていただきましたことからです。今、ブラジルをはじめBRICSは成長発展段階での構造転換点に入り、今後の政治・社会・経済における改革を進め、紆余曲折を経ながら外需・内需のバランスの取れた安定成長を目指す核としての国々へ変貌していくことを願いながら、応援メッセージとさせていただきます。

貴社のキャッチフレーズ「いそがないで歩こう。」は、素敵な響きを持ち、私が新興国に抱く思いと同じ、それは、いつもその国が好きだと思えるからで、だから投資が継続出来るのだと思っています。
以上

<プロフィール>

蓮沼嗣也（はすぬまつぐなり）

株式会社グローバル・インベストメント・アジア

副社長 兼 エマージング・マーケット・ストラテジスト

昭和63年～平成11年：住友信託銀行系リース会社 国際営業部課長

平成12年～平成25年：バンクオブアメリカ証券会社

ラザード・バンク リミテッド ロンドン

ICAP 東短証券(株) マネージング・ディレクター

ドイツ証券(株) ディレクター／債権トレーダー

アイエヌジーバンクN. V. ディレクター／債権トレーディング部長

イタウ・アジア・セキュリティーズ 法人営業部長

セミナー・イベント情報

当社主催、共催セミナーのスケジュール <セミナーレベル ★:入門 ★★:初級 ★★★:中級>

【東京】池袋		ここが肝心!「セゾン投信のファンド講座」スタートアップ編		
★	9月11日(水) 19:00~20:00	セゾン投信会議室 (サンシャイン60・37F)	参加費 無料	奥山 勉 (セゾン投信運用部アナリスト 日本証券アナリスト協会検定会員)
	「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」と「セゾン資産形成の達人ファンド」 当社のアナリストによる、2本のファンドのじっくり解説と質疑応答の1時間です。			
【東京】八重洲		草食投資隊セミナー 第2回草快塾 「長期投資の続け方」		
★	9月12日(木) 19:00~20:45	レオス・キャピタルワークス 27F セミナールーム	参加費 無料	コモンズ投信会長 渋澤 健氏 レオス・キャピタルワークス 取締役 CIO 藤野 英人氏 セゾン投信社長 中野 晴啓
	投資を始めて「長期に投資しよう」とアタマでは理解していても、マーケットが大きく動いたり、先行き不安なニュースを耳にすると「初心」が薄れて、換金したくなる衝動を多くの方が感じているようです。長期投資を実行している方も、まだ実行できできていないという方も、草食投資隊とともに続け方について考えてみませんか？			
【北海道】札幌		特別開催！セゾン投信のNISAセミナー<札幌編>		
★	9月13日(金) 19:00~20:30	札幌市教育文化会館 研修室 402	参加費 無料	中野 晴啓(セゾン投信社長)
	2013年10月、いよいよNISAの受付が一齐にスタートします。その前に、押さえておきたいNISA概要とポイント、またセゾンの2本のファンドで考えるNISA活用法について、また「セゾン流長期運用」についても国内外経済トレンドを交えながらお話をさせていただきます。			
【北海道】 札幌、帯広		直販クラブ2013 『長期投資を徹底的に考える ー長期投資家の挑戦ー』		
★	【札幌】 9月14日(土) 13:30~16:00	札幌市民ホール 2F 第1会議室	参加費 無料	仲木 威雄氏(さわかみ投信取締役販売本部長) 岡 大氏 (ありがとう投信代表取締役 CIO) 中野 晴啓 (セゾン投信社長)
	【帯広】 9月15日(日) 9:30~11:30	帯広商工会議所 研修室		
日本に「長期投資」の文化を根付かせるべく日々奮闘している3人が一同に会します。個人投資家向けの本格的な長期投資ファンドを運用する会社としては日本で最も歴史のある3社です。その3社を代表して仲木氏、岡氏、中野が皆さんと「長期投資」について徹底討論します！どうぞお楽しみに！！				
【東京】池袋		「ゼロからはじめる投資のキホン」~投資の初心者さん限定~		
★	9月26日(木) 19:00~20:00	セゾン投信会議室 (サンシャイン60・37F)	参加費 無料	瀬下 哲雄 (セゾン投信運用部ポートフォリオマネージャー)
	毎回、人気のセミナーです。投資をはじめる前に知っておきたいポイントを凝縮してお伝えします。日頃なかなか聞けない基本的なこと等も含めて皆様からの質問にしっかりお応えいたします。			

満員御礼!

【東京】池袋		「セゾン号」の長期投資入門「投信マスターへの第一歩」 ～投資する前に投資信託のポイントを知っておこう～		
★	9月28日(土) 9:45～11:45	あうるすぽっと 会議室B2	参加費 無料	房前 督明氏(FCP代表) 市本 宏(セゾン投信顧客サービス部長)
★ 当社アドバイザー房前氏は、長期投資の考え方と実践法について、顧客サービス部長市本からは、投資するときに知っておきたい投資信託のポイントについて、目論見書を使ってお話しします。 (中野社長は地方出張のため欠席です。)				
【宮城】仙台		特別開催！セゾン投信のNISAセミナー<仙台編>		
★	9月29日(日) 14:30～16:30	ハーネル仙台5F けやき	参加費 無料	中野 晴啓(セゾン投信社長) 齊藤 直樹(セゾン投信営業部長)
★ 2013年10月、いよいよNISAの受付が一斉にスタートします。その前に、押さえておきたいNISA概要とポイント、またセゾンの2本のファンドで考えるNISA活用法について、また「セゾン流長期運用」についても国内外経済トレンドを交えながらお話させていただきます				

詳細・お申込みは、ホームページ「セミナー情報」をご覧ください

<http://www.saison-am.co.jp/seminar/seminar.html>

お電話でのお問合せ セゾン投信お客様窓口

03-3988-8668(9:00～17:00、土日祝・年末年始を除く)



社員が講師として参加するセミナーのスケジュール

【東京】【大阪】		『そうだ！投資をはじめよう』 ～NISA(少額投資非課税制度)を活かす資産運用の選び方～		
★	【東京】日本橋 9月17日(火) 19:00～20:40	東洋経済新報社 9階ホール	参加費 2,000円	鎌田 恭幸氏(鎌倉投信社長) 中野 晴啓(セゾン投信社長)
	【大阪】梅田 9月24日(火) 19:00～20:40	ブリーゼプラザ (ブリーゼタワー内)	【特典】 『週刊東洋経済』 5週分購読付	
★ 東洋経済新報社主催の特別セミナー 基調講演・「グローバルな視野で投資について考えよう」セゾン投信社長中野、 ・「21世紀を生き抜く価値ある企業像と投資の在り方について考える」鎌倉投信社長鎌田氏 講演後、講師2人による質疑応答を含むパネルディスカッションでNISAを活かす資産運用について、 質疑応答を交えて、その説明を致します。				
【福岡】		投資初心者の私にもできる！長期投資のイロハ		
★	10月5日(土) 17:00～19:00	TKP博多駅筑紫口会議室 カンファレンスルーム3	参加費 1,000円	中野 晴啓(セゾン投信社長)
★ 「アベノミクス」に始まった2013年。そして、2014年から始まるNISA。変わりゆく時代の中で、私たちはどう対応していけばいいのでしょうか。変化に対応していくためには、投資の知識は不可欠になりました。そして今、投資について知っている人とそうでない人との差が広がっています。専門的な知識やセンスがなくても、誰でもできるのが長期投資！時代に合った長期投資について、じっくり学べます。				

上記のセミナーは主催者の都合により変更されることがあり、内容等もこれを反映すべく予告なしに変更される場合がありますので予めご了承下さい。

【お申込み・お問合せ】 詳しくはセゾン投信ホームページよりセミナー主催者へ、直接お問い合わせください。

セゾン投信からのお知らせ

【NISA(ニーサ) についての一口メモ】

来年から始まる少額投資非課税制度(日本版ISA=NISA)。年に元本 100 万円まで、株や投資信託の譲渡益や配当が5年間非課税になります。このところ、経済専門誌やマネー誌でNISAの文字を見かけない日はありません。いまさらのNISAのポイントですが、『非課税』の部分を見逃す手はありません。投資を始めるチャンスでもあり、これまでの投資を見直すきっかけです。制度の開始は来年1月ですが、来月10月1日より、非課税手続きの受付は始まるため、ますます企業広告による情報は増えるでしょう。

まずは、正しい情報をもとに、①仕組みを知る、②使い方はいろいろ、③1人1口座だからこそ金融機関を調べて選ぶ、④制度の意外な落とし穴を知る、ことが大切です。

まだ「関係ない」、「使いたくない」、「仕組みがよくわからない」といった方は、セゾン投信が無料で開催しているセミナーへ参加されることをおすすめします。具体的な手続きや、疑問を解消するチャンスです。

【 NISA(ニーサ)に関する「よくある質問」 】

＜セゾン投信での取引に関する質問＞

1	Q	現在、特定口座で定期積立をしています。NISA口座でも定期積立を実施したい場合、申込書の提出が必要ですか？
	A	特にお手続きは必要ありません。現在、一般口座または特定口座で定期積立をいただいているお客様が、NISA口座の開設をした場合は、自動的に累計100万円になるまで、NISA口座の定期積立に振替が行われます。(選択することはできません。)
2	Q	資金がある時に一時購入(スポット購入)を行う場合、NISA口座内運用か、一般または特定口座内の運用かを選択できますか？
	A	一時購入(スポット購入)の場合、どの口座で運用するかは選択が可能です。
3	Q	「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」をNISA口座で保有していますが、新たに「セゾン資産形成の達人ファンド」を追加した場合、同じNISA口座の対象になりますか？
	A	対象になります。セゾン投信のNISA口座では2本のファンドが対象です。
4	Q	個人のログイン後の明細画面の表示はどうなりますか？
	A	口座種類別、ファンド別に分かれて表示されます。

【買付・解約 受付不可日のお知らせ】(2013年9月4日～11月末日)

下記は2013年9月4日現在の当社取扱いファンドの休日(海外休日等)の情報です。当該海外休日等は日本の営業日の場合でも、信託約款に定める申込不可日としてご注文を受付することができません。当該海外休日等にいただいたご注文は、「翌営業日」を注文日として承ります。

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	10月28日(月)、11月11日(月)、11月28日(木)
セゾン資産形成の達人ファンド	10月28日(月)、11月11日(月)、11月28日(木)

上記は信頼できると思われる資料に基づいて作成されていますが、その正確さや完全さに対する責任を当社が負うものではありません。各地の休業日は都合により変更されることがあり、上記もこれを反映すべく予告なしに変更される場合がありますので予めご了承下さい。

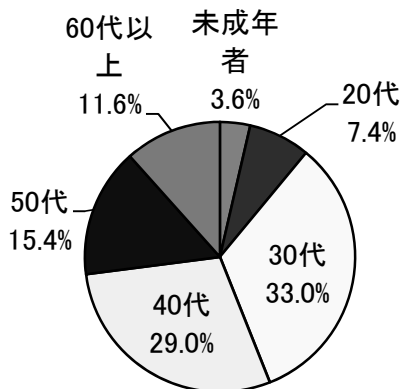
お客さまデータ

【お知らせ】 2014年8月の新規口座開設数は615件となり、7月末の実数59,606口座に単純加算いたしますと60,221件となります。

しかしながら、過去に遡り相続等のご事情により口座閉鎖をされたお客様について、今月はその口座数を解約分として、計上致しました。結果、60,088件となっていますので、ご了承ください。

セゾン投信 会員数 60,088 口座
(2013年8月30日現在)

年代別比率



※2013年8月30日現在

【メディア掲載情報】

<http://www.saison-am.co.jp/company/media.html>

●東洋経済オンライン 8月19日付

<秋の市場の波乱に備えた「日米密約説」とは？;第9回>
:「米国の出口戦略は、チャイナリスクの行方次第

<http://p.tl/fgHl>

●日本経済新聞 電子版 8月21日付:

【新興国懸念、日本株に影響どこまで 市場の見方】で運用部ポートフォリオマネージャー瀬下のインタビュー「調整は割高是正、足かせにならず」が掲載されました。

●金融経済新聞 8月19日付:

【書籍】「かもられない」術を/社長中野の著書「投資信託はこの9本から選びなさい」(ダイヤモンド社)が紹介されました。
※ プレスリリース NEW 2013.8.30に配信致しました。

セゾン投信の口座数が6万口座を突破!

<http://p.tl/Z8ku>

セゾン投信の素顔

「今話題の『半沢直樹』より」

今回の夏ドラマの中で一番人気は「半沢直樹」だそうです。我が家でも子供たちが「倍返しだ!」「10倍返しだ!」と仲良く?兄弟で遊んでおります。数ある名台詞の中で私が一番心に残ったのは第6話の半沢が大和田常務と対峙する場面。「銀行は、所詮金貸しですよ、常務。我々銀行員は銀行のためではなく、この国で働く人々のために仕事をしている」業種は違いますが同じ金融に身を置く私も同じ思いです。そしてまさにそれこそがセゾン投信の存在意義であると信じています。

コンプライアンス部 稲富 佳子

「甲子園の夢」

「以前、少年野球のコーチをしており、「いつの日か自分のチームの子が甲子園に出場し、それをスタンドから応援する」というのが夢でした。ついに今年、甲子園に出場する子ができました。残念ながら都合でテレビ観戦となってしまいましたが、充分楽しませてもらいました。

今年の甲子園は良い試合が多く面白かったのですが、応援歌に「あまちゃん」を使っている学校が多くて、今でも頭の中は「あまちゃんテーマソング」が鳴り止みません。

内部監査責任者 太田 玄

編集後記 6万口座を達成いたしました、ありがとうございます。

8月28日、6年5ヵ月にして6万人のお客様にご支持いただけたという感謝の気持ちでいっぱいです。これを機に、この実績は一つの通過点として改めてこれまでの営業実績を精査いたしましたところ、相続や海外への移住等、様々なご事情により口座閉鎖をされた一部の方を減算しておりませんでしたので、これを全て累計口座数に反映致しました。なお、今月も本冊子にて、ご案内いたしておりますが、「特別開催!セゾン投信のNISAセミナー」も逐次、開催いたします。是非HPからもご覧いただき、お申込みいただければ幸いです。【NISA(ニーサ)に関する「よくある質問」】今月号では、「セゾン投信の場合はどうなの?」の質問にお答えしております。どうぞ今月もセゾン投信の活動にご注目ください。

セゾン投信、Facebook「いいね!」受付中。

<http://www.facebook.com/saisonam>

